

はじめに

コミュニケーション能力育成につながる「書くこと」指導法

現在、世界は新たな激動の時代を迎えています。急速なグローバル化の進展に伴い、世界的規模で刻々と政治・経済情勢が変化するこの厳しい時代を生きぬかなければならない子どもたちには、国際共通語である英語力と多様な価値観を受容し共生していくための寛容性やコミュニケーション能力を身につけることが求められています。

国はこのような状況の中、平成 26 年 9 月に英語教育の在り方に関する有識者会議において、「グローバル化に対応した英語教育改革の 5 つの提言」をまとめ、「英語を使って何ができるようになるか」という観点からの改革を求めています。

大分県教育委員会も平成 26 年 10 月に「大分県グローバル人材育成推進プラン」を、さらに 26 年度中に「大分県英語教育改善推進プラン」を策定し、明確な目標設定と目標管理のもと、英語教育の改善を進める方針を決定しました。

現在、本県の中学生の英語力は、県学力定着状況調査の結果によると、4 技能がバランスよく身につけておらず、特に「書くこと」によるコミュニケーション能力を育成する指導に課題があることがわかりました。

そこで県教育センターでは、「コミュニケーションにつながる書くこと」に焦点を当て、授業で活用できるわかりやすい指導法を紹介する事例集を作成しました。

本事例集が県下すべての教室で活用され、書く活動をベースにした知識や情報・自分の考えなどを積極的に伝え合う活動が充実し、生徒のコミュニケーション能力が一層高まり、さらに「英語を使って、～することができた!」という生徒の英語学習に対する意欲が高まることを期待しています。

最後に、本冊子の編集に当たり、実践事例を提供くださいました先生方、事例のとりまとめをしていただいた研究協力者の先生方に深く感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月

大分県教育センター所長
梶原 敏明